



Foresight in sight

目指せ「現場IT」 製造業ICT担当への期待と課題

ダイハツ工業株式会社
朝田 卓磨

<本日のアジェンダ>

- 1. 会社紹介&自己紹介**
- 2. はじめに**
- 3. 組織の変遷**
- 4. 現状組織のメリット**
- 5. 現状組織の課題**
- 6. 課題の解決に向けて**

< 1. 会社紹介 >



商号	ダイハツ工業株式会社(DAIHATSU MOTOR CO., LTD.)
本社	〒563-8651 大阪府池田市ダイハツ町1番1号
創立	明治40年(1907年)3月1日
代表者	取締役社長 三井 正則
資本金	284億円
従業員数	(連結)40,761名(2014年3月末現在) (単独)11,788名(同上)
売上高 (2014年3月期)	(連結)19,132億円 (単独)12,103億円
売上台数 (2014年3月期)	(連結)1,625千台 国内:628千台 海外:421千台 受託・OEM:576千台
販売網 (2014年3月末)	国内:販売会社60社 / 直販新車拠点数 685店 海外:海外ディストリビューター約75社



ウェイコ



タント



ムーヴ
カスタム

< 1. 自己紹介 >



希望は
営業・商品
企画職(笑)

1965年生まれ 49歳

1990年4月 ダイハツ工業入社
8月 まさかの
情報システム部 配属

1993年 販売会社 出向

1996年 復職
再び情報システム部へ

2012年 カスタマーサービス
パーツ部 異動

2013年 オフィスサポートセンター
ICT担当 および
カスタマーサービス
パーツ部 兼務

< 現在の業務 >

- ・補修部品システム再構築
- ・メインフレーム ダウンサイジング

< 2. はじめに > 思えば3年前の冬・・・



オールダイハツ TQM大会

(Total Quality Management)

オールダイハツTQM大会では、
役員から部長クラスの発表に
よるトップダウン型で全従業員
と戦略的方向性や経営課題
を共有し、経営品質の向上と
体質変革を目指しています。
(弊社HPより抜粋)

「パソコンに向かうのが
仕事ではない！」
「机に向かってペンを持ち
データの入力している姿は
間違い」

君たちは
仙人だ

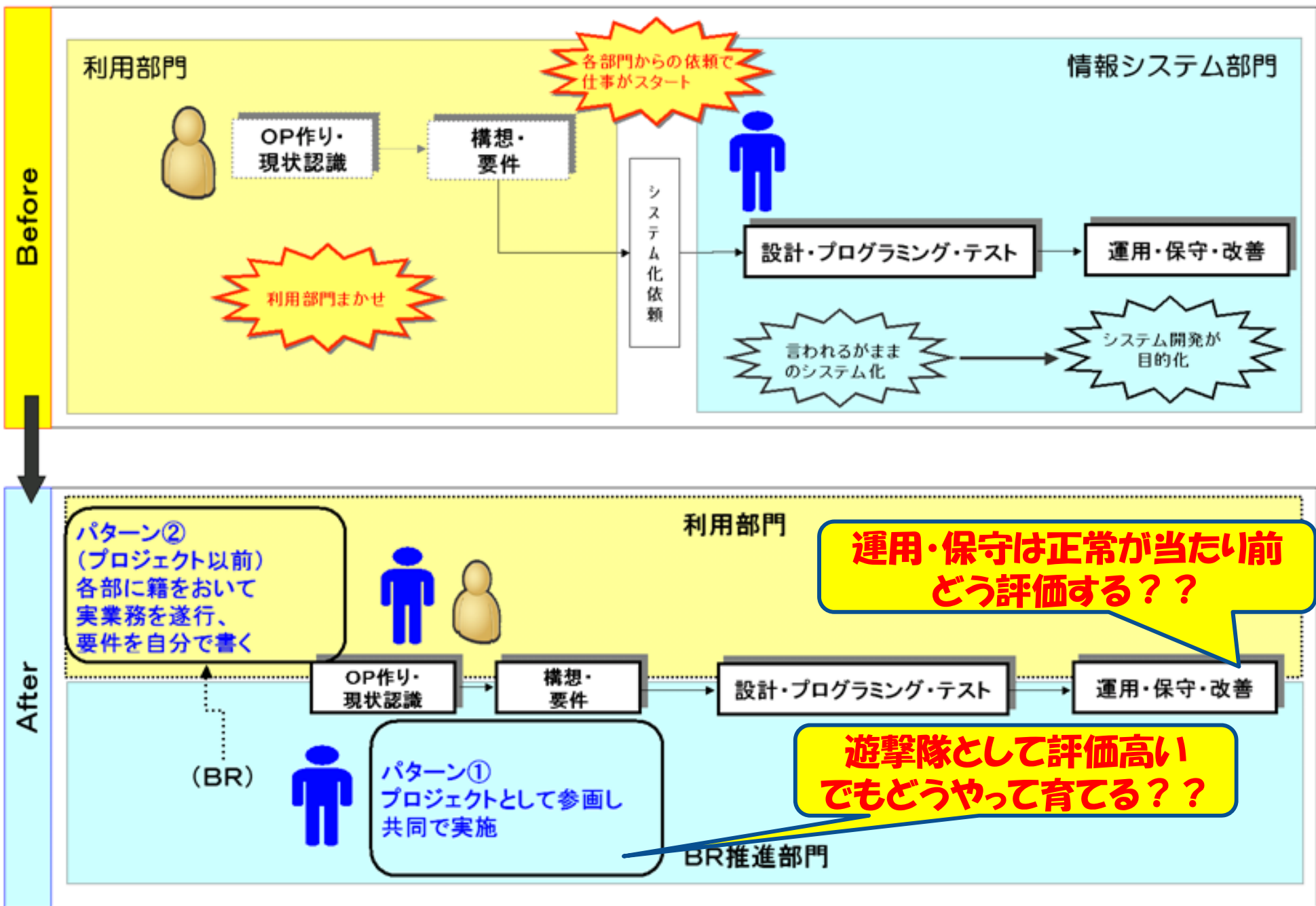
「事務所に座って
パソコンにばかり向かうな」
「現場とともに自らが汗をかき
実務を通してシステム企画せよ」
という指示そのものと理解



< 3. 組織の変遷 > 歴史

ステージ	組織名	組織のミッション
第1期 (1980年代)	経理部電算課	システムは財務会計を処理するための道具 プログラマーやパンチャー、 オペレータといった 運用主体の組織
第2期 (1990年代)	情報システム部	自動車製造会社の基幹業務である 部品表→原価計算→生産準備→ 生産計画→部品手配→生産→配車という 一連のSCMに関わるプロセスはもとより、 販売や品質保証、 アフターマーケットのCRMまで 情報システムを企画・開発・運用
第3期 (2000年代)	BR・IT推進部 BR推進部	社内外の業務プロセスを一気通貫の視点で 俯瞰出来るシステム部門こそが、 業務改革を行うことが出来るとの観点から BR(Business Reform・・・業務改善) Business Revolution(業務革命)を起こす 部署 としての期待

< 3. 組織の変遷 > BR組織のイメージ



< 4. 現状組織のメリット > 現場に近づく

**「現地・現物」
確認**

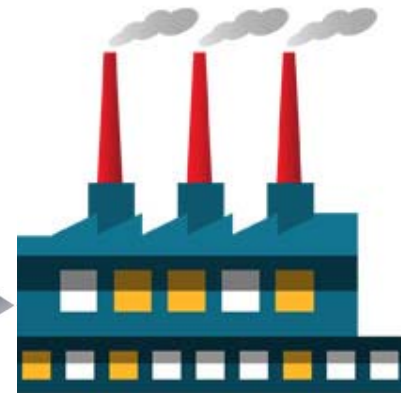


Robe コペンローブ



**他社
ベンチマーク
立ち位置を
知る**

A社



B社



C社



< 4. 現状組織のメリット > QCD(Quality / Cost / Date)向上

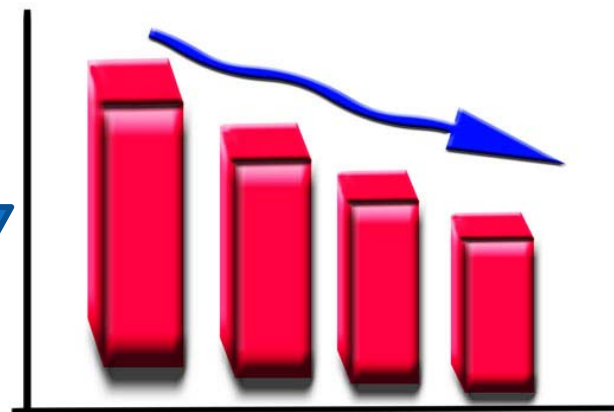
品質向上



自部門
完結



コストダウン



手戻り
なし



すぐに
承認



スピードUP

< 4. 現状組織のメリット > 「システム化」クローズアップ

2015年度
某現場 部方針より抜粋

1) マイグレーションによる基幹システム基盤の再構築

2) 受発注システムの段階的な再構築の推進

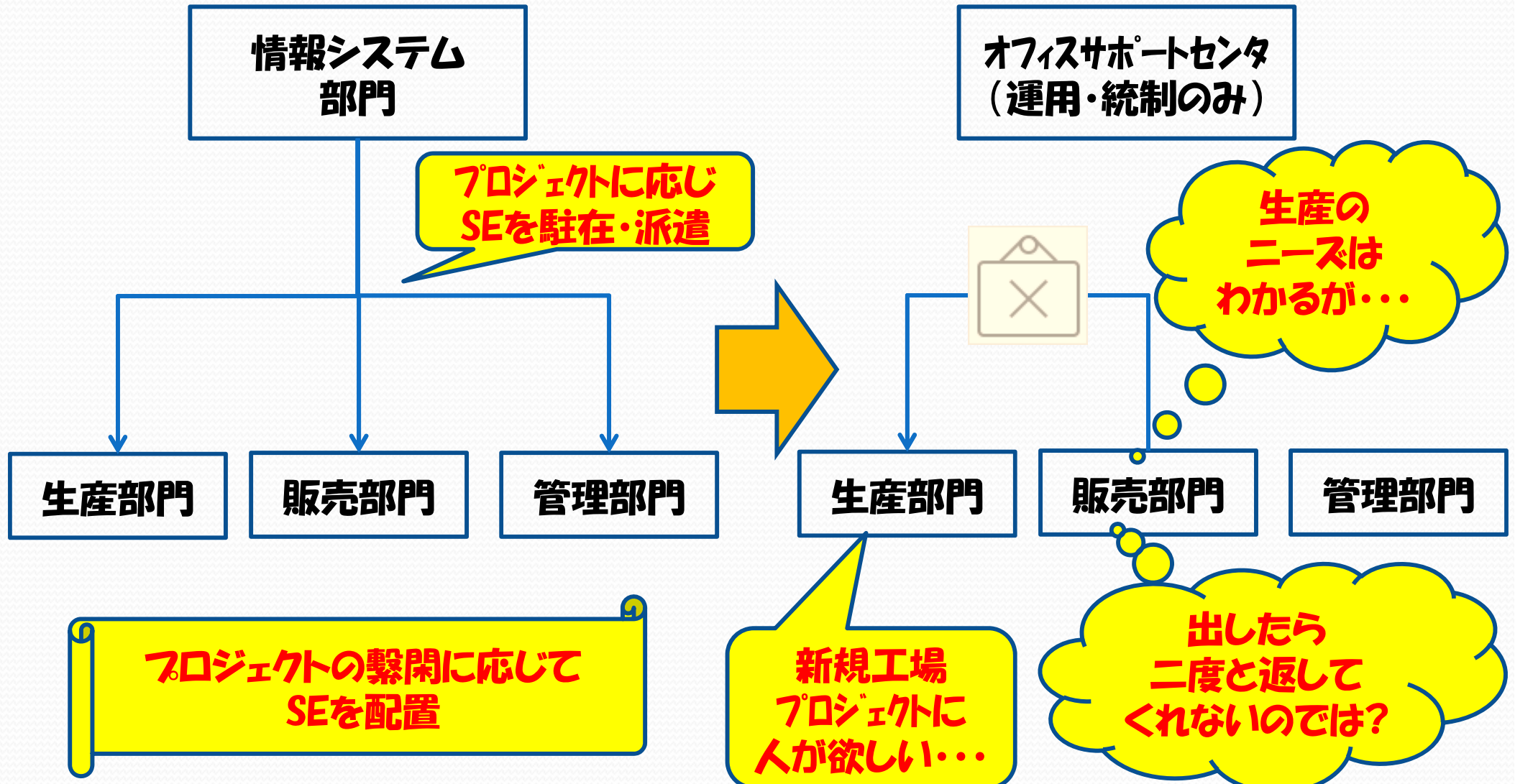
①1次ステップ(手配)のシステム開発

②2次ステップ(品番情報)のシステム要件定義

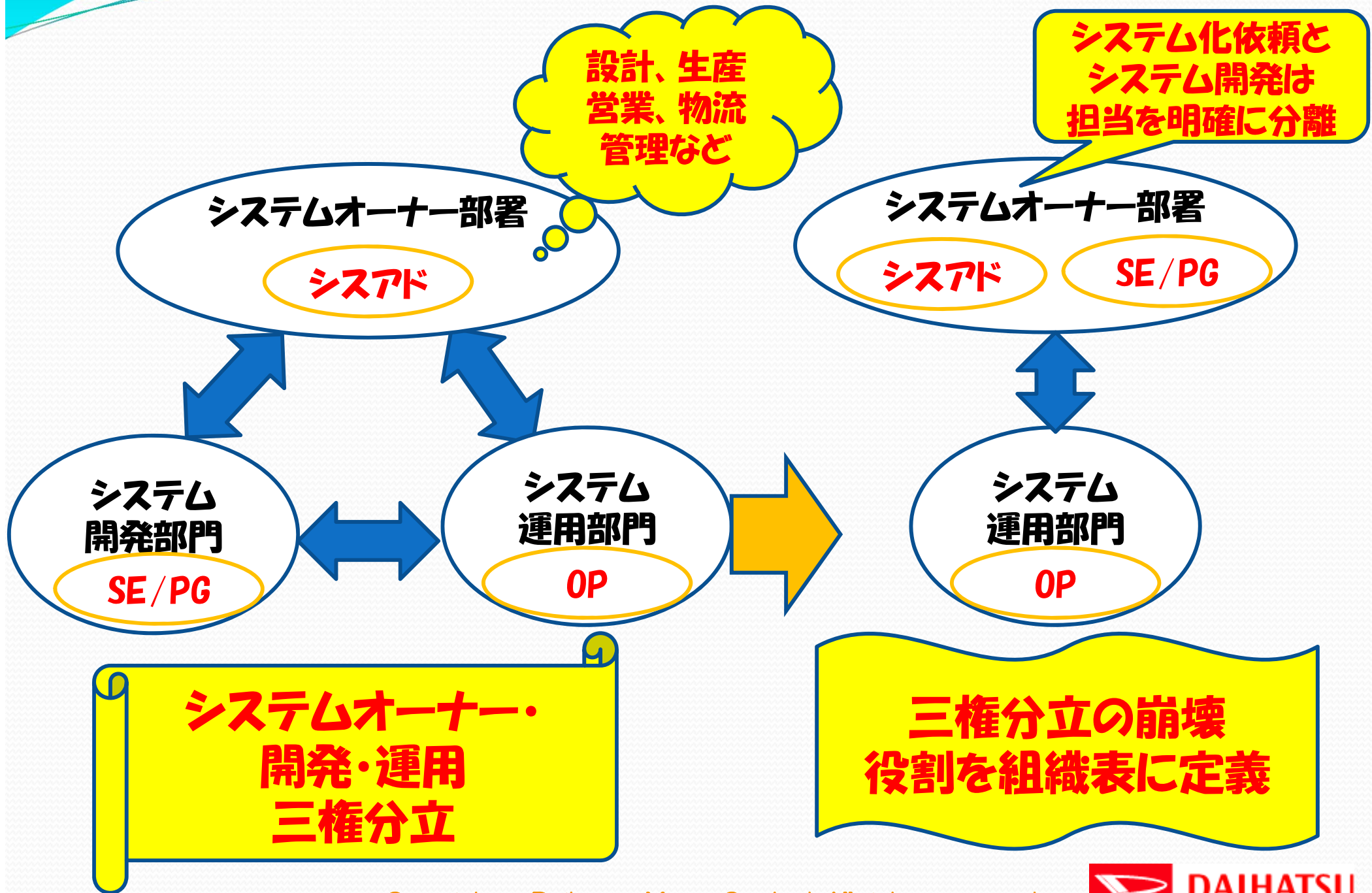
	結合テスト	
☆ 基本設計のしんぎ		基本設計
		システム要

**システム企画を自部門のミッションと認識
(今まではIT部署任せ)**

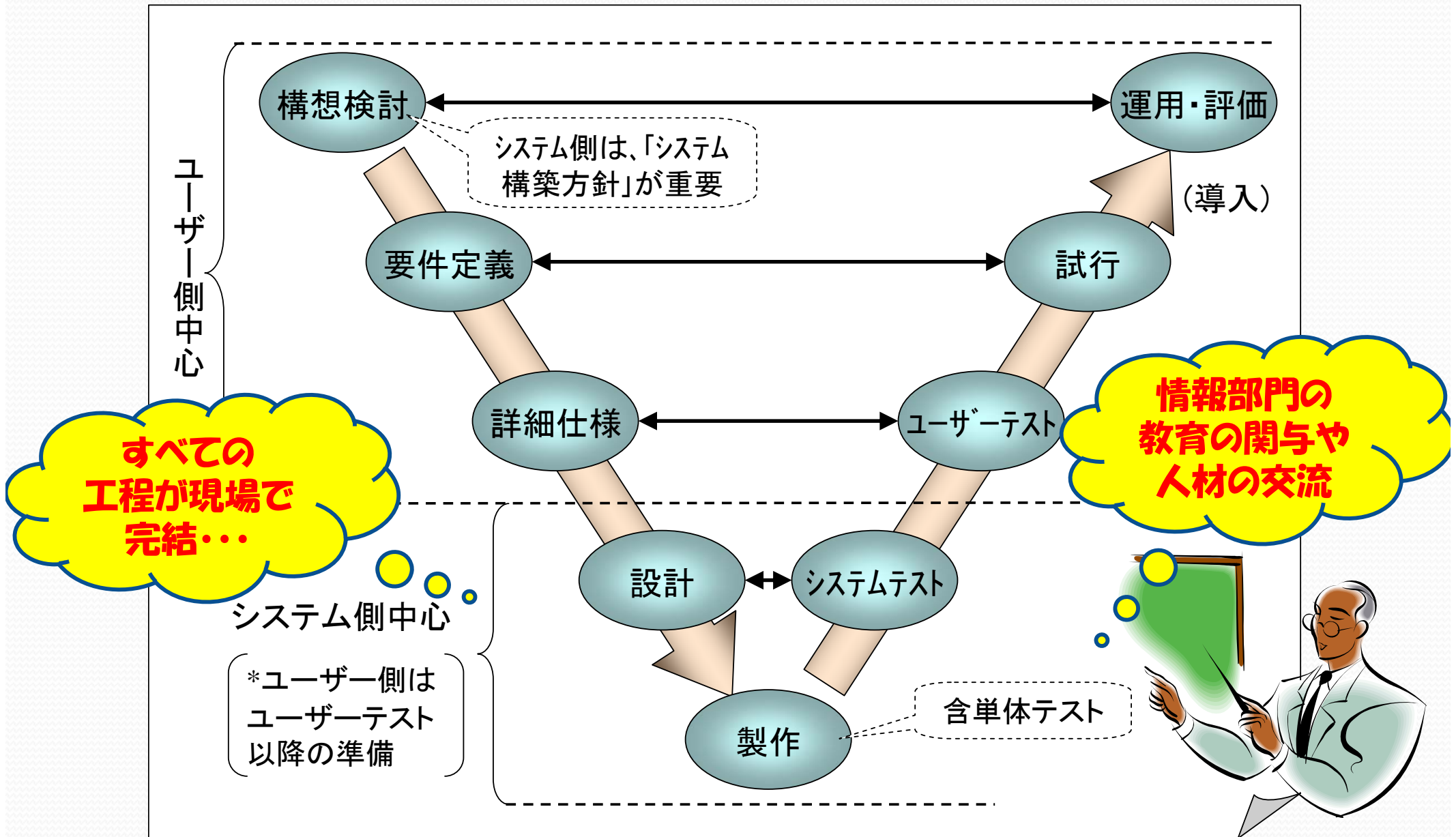
< 5. 現状組織の課題① > 人材の固定化



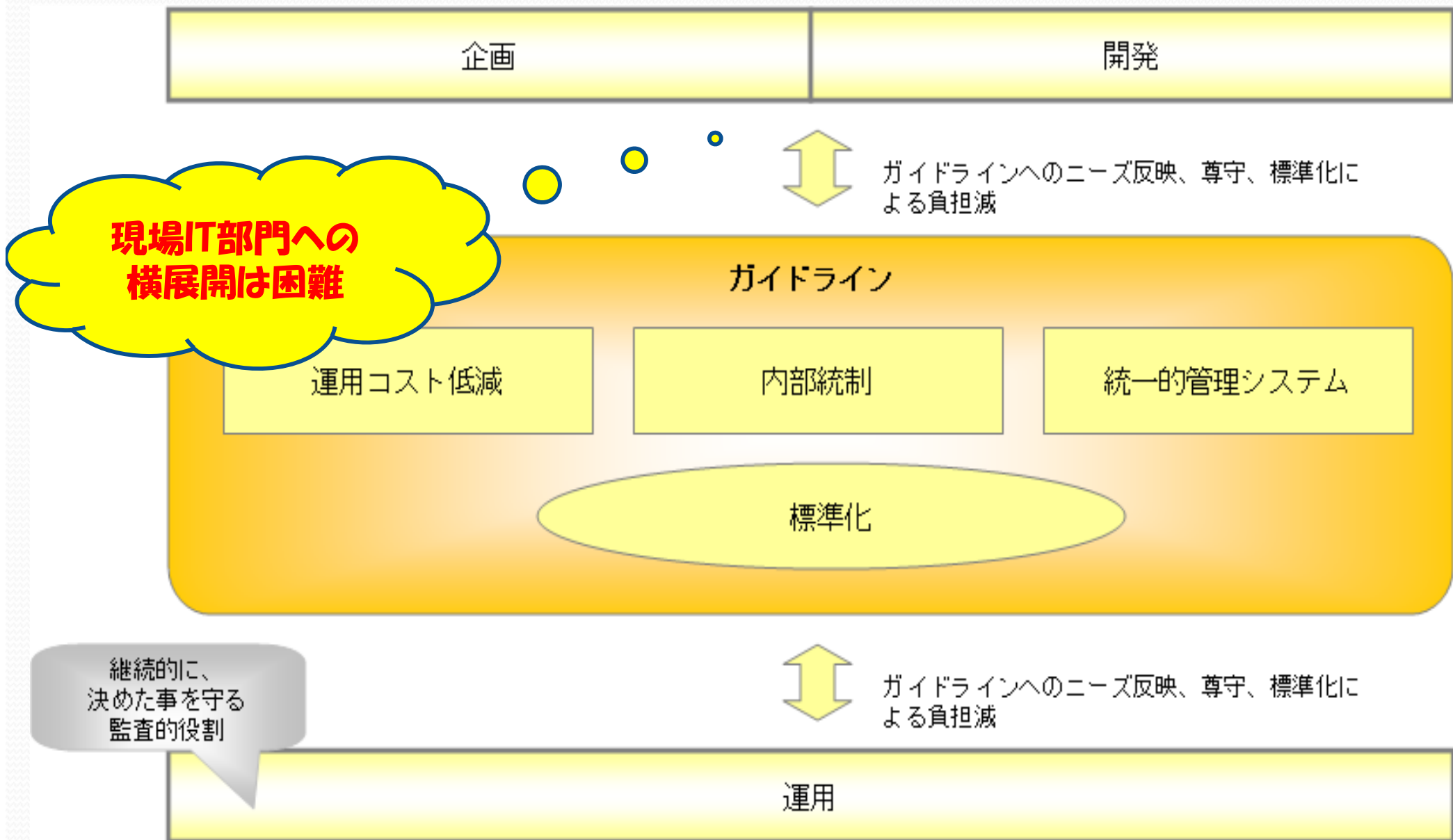
< 5. 現状組織の課題② > IT統制上の課題



< 5. 現状組織の課題③ > 人材育成



< 5. 現状組織の課題④ > 標準化

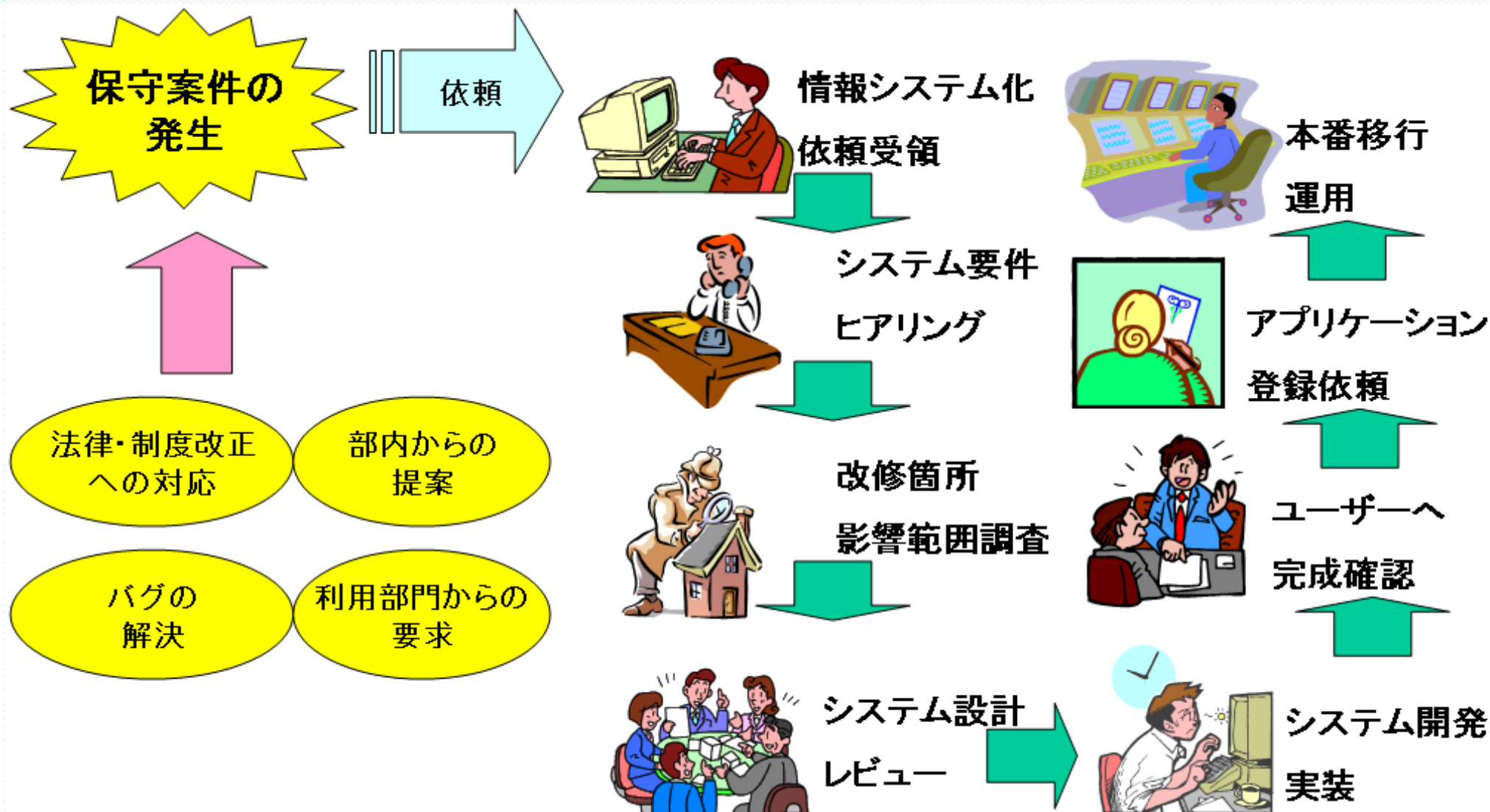


< 5. 現状組織の課題⑤ > 役割定義困難なシステム保守

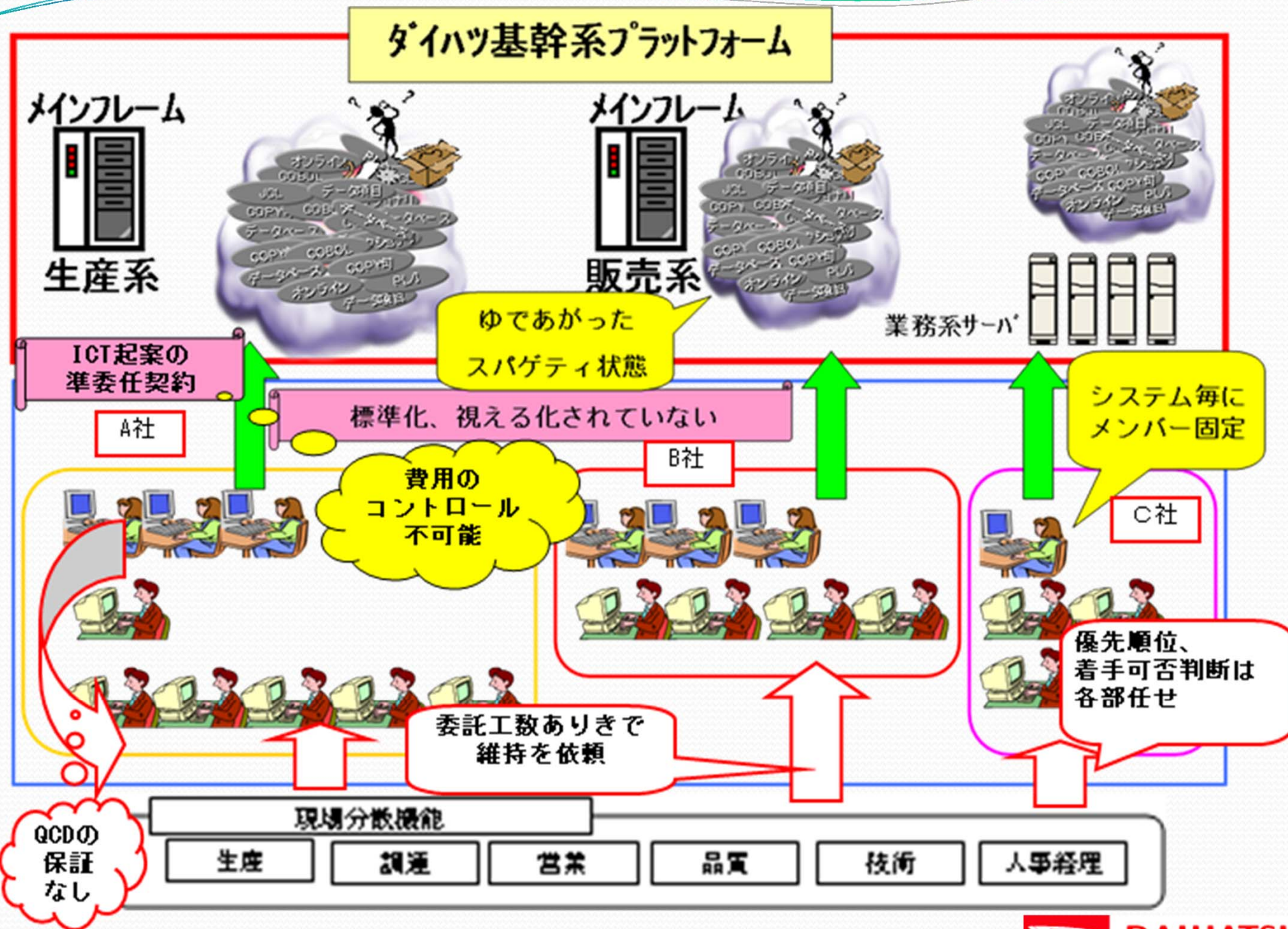


システム保守は現場？センター集中？？

< 5. 現状組織の課題⑤ > 役割定義困難なシステム保守 ～システム保守の流れ～



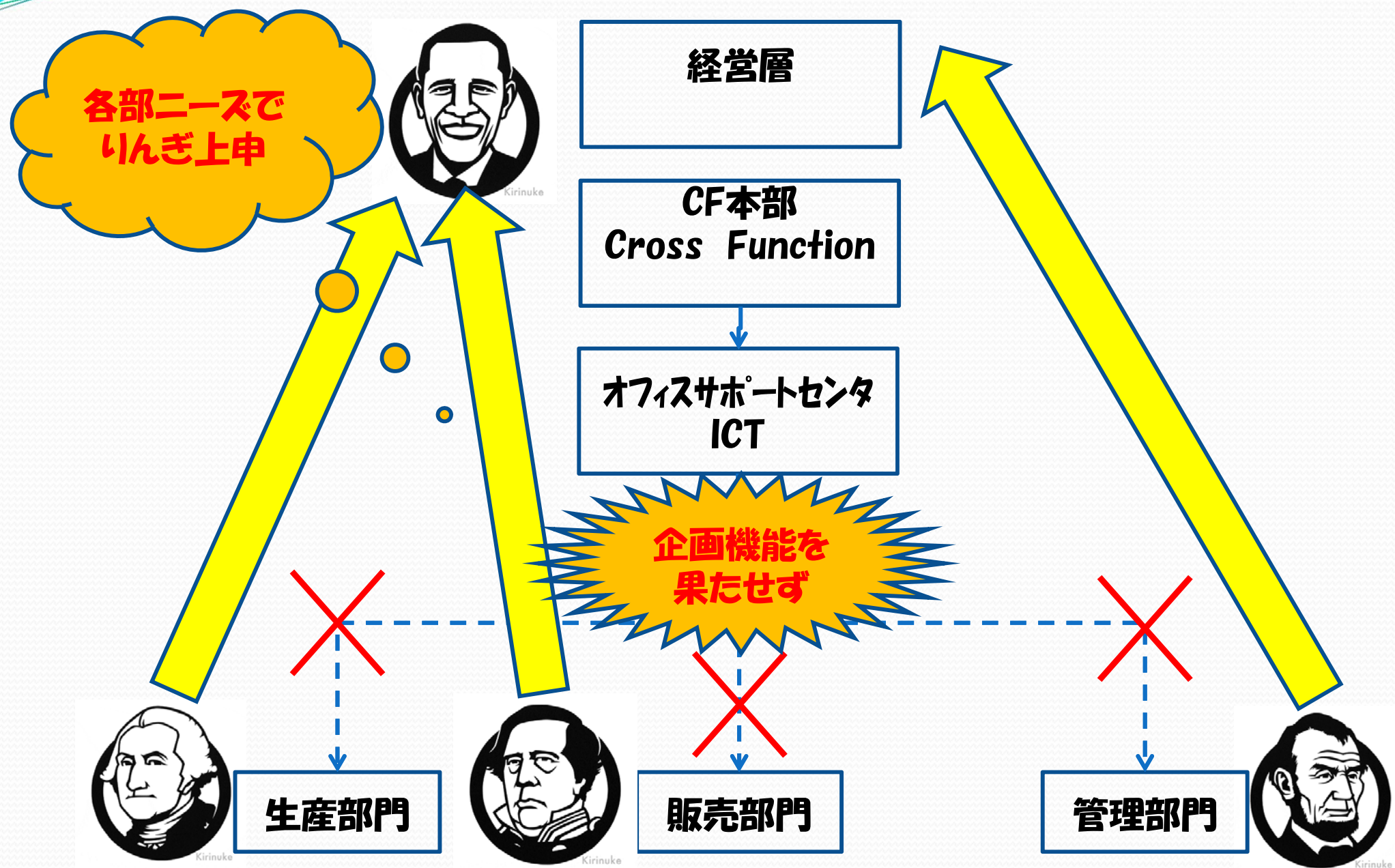
< 5. 現状組織の課題⑤ > 役割定義困難なシステム保守 ～システム保守の課題～



< 5. 現状組織の課題⑥ > 投資管理



< 5. 現状組織の課題⑦ > 経営にできていない



< 6. 課題の解決に向けて① >

『オフィスサポートセンター』と『現場IT』機能の再定義

【グループCF部】

全社IT企画

現場入り込みで
お客様に近づく

【OSC】

各部(部門)

技術 生産 調達 品質 コーポレート 営業

全社インフラ維持

全社IT推進
(統合データベース)
(教育)
(プログラミング)

【予算】

【標準化】

【統制活動】

遊撃隊

強力な横串機能

< 6. 課題の解決に向けて② > 人材の流動化

		一般職	チームリーダー	マネージャ
		IT業務を作る	各機能リーダー	機能間を俯瞰
システム開発	プロジェクトリーダー		○	○
	システムエンジニア (SE)	○	○	
	プログラマー (PG)	○		
	データヘルパー	○		
	業務知識	○		
	新技術・他社動向	○	○	○
インフラ運用	プロジェクトリーダー			○
	ネットワーク	○		
	ホスト・サーバ運用	○		
	新技術・他社動向	○		○
コンプライアンス	セキュリティ (機密管理)		○	○
	SOX		○	○
	他社動向		○	○

業務知識とITスキル



ICT



現場IT



< 6. 課題の解決に向けて③ > 内部統制

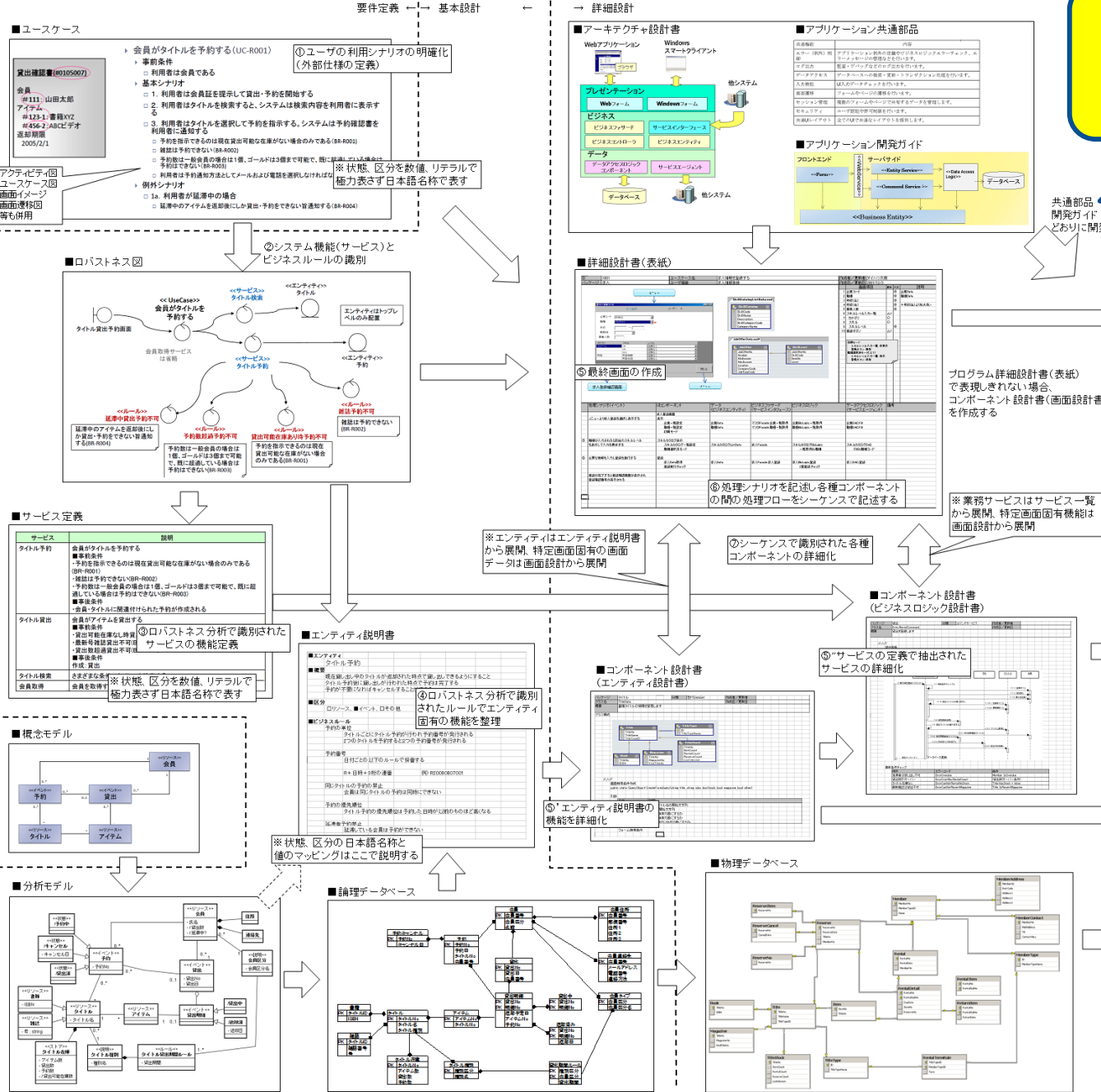
項目	行動指針	リスク
SOX法遵守	(SOX) 統制活動を順守し不正を発生させない	1. 財務諸表の信頼性が失墜 2. 会社の信用が失墜
ソフトウェアライセンス管理	ソフトウェアライセンスの適正利用を徹底し、ライセンス不足を発生させない	1. 「著作権法」違反 2. 社会的信用の失墜 3. 情報セキュリティ低下 ウイルス感染による社内システム停止 不正ソフト利用による情報漏洩
機密管理	機密情報を保護し、漏洩を防止するため、全社員への教育・啓蒙活動を継続して実施する	1. 各種法令違反 個人情報保護法、会社法、金融商品取引法、不正アクセス禁止法など 2. 会社経営の弱体化 市場での商品力・他社優位性の低下 信用度低下による受託業務の消失
個人情報保護	個人情報の取扱いルールを遵守し、紛失・漏洩を防止する	1. 「個人情報保護法」違反 2. お客様への信用失墜 3. 自検協、軽検協との契約違反 登録、検査情報の利用停止 (自動車検査登録情報協会、軽自動車検査協会)
労働基準法遵守	労働時間の適正管理を徹底する	1. 「労働基準法」違反 2. 業務高負荷、ストレス過多による心身の健康障害
業務委託契約 手続の遵守	決められた手続に従って契約を適正に行う	1. 「下請法」「労働者派遣法」違反 2. 企業イメージの低下

**オフィスサポート
センターの中に
全社システムの
運用状況を
一元監査できる
部隊の創設**

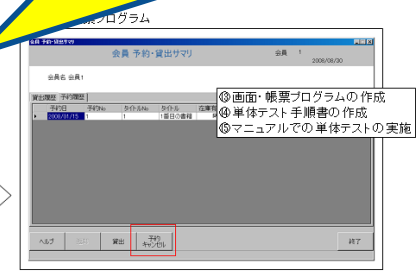


< 6. 課題の解決に向けて④ > 標準化

Net ダイハツ標準推奨成果物フロー



**ベンダー依存ではない
標準維持には啓蒙が必要**



```

// サービスロジックプログラム (サービス)
[Transaction(TransactionMode WriteAction)]
public override ReserveData EncloseCancelReserveRequest request
{
    // ...
}

// サービスロジックプログラムの作成
// 単体テストデータの準備
// 自動単体テストの作成
// サービスの自動単体テストの実施
    
```

```

// ビジネスエンティティプログラム (エンティティ)
partial class TitleRow
{
    public string ISBN { get; } // テーブルのカラムを親のプロパティとして公開
    public int MagazineNo { get; } // マガジンのID
    public bool IsMagazine { get; } // 画面しきいのようにプロパティを作成
    public bool HasStock { get; } // ビジネスルールを実装
}
    
```

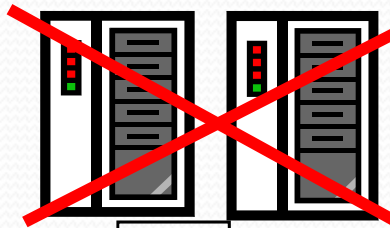


< 6. 課題の解決に向けて⑤ >

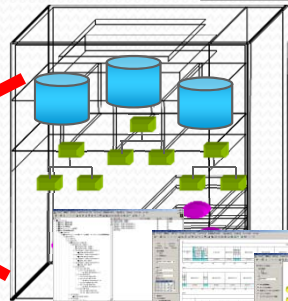
「システム保守業務」役割の明確化と効率化

ダイハツ基幹系プラットフォーム

メインフレーム



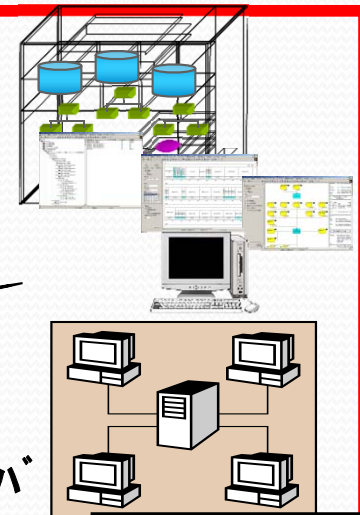
順次サーバ化



リバースエンジニアリングで
プラットフォームに
依存しない維持体制

システム再構築で
保守コスト HALF 化を織り込み

業務系サーバ



ICT 準委任契約

運用

1 人月以上は請負

改善

ドキュメントレス

業務知識
レス

開発技術
レス



コールセンター化でコストダウン

現場分散機能

生産

調運

営業

品質

技術

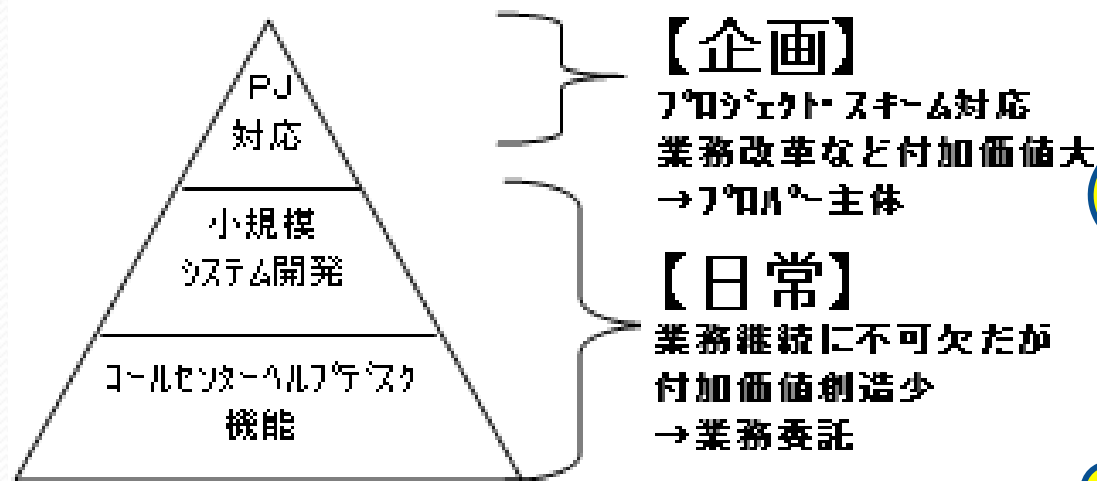
人事経理

現場目線で必要なものを依頼

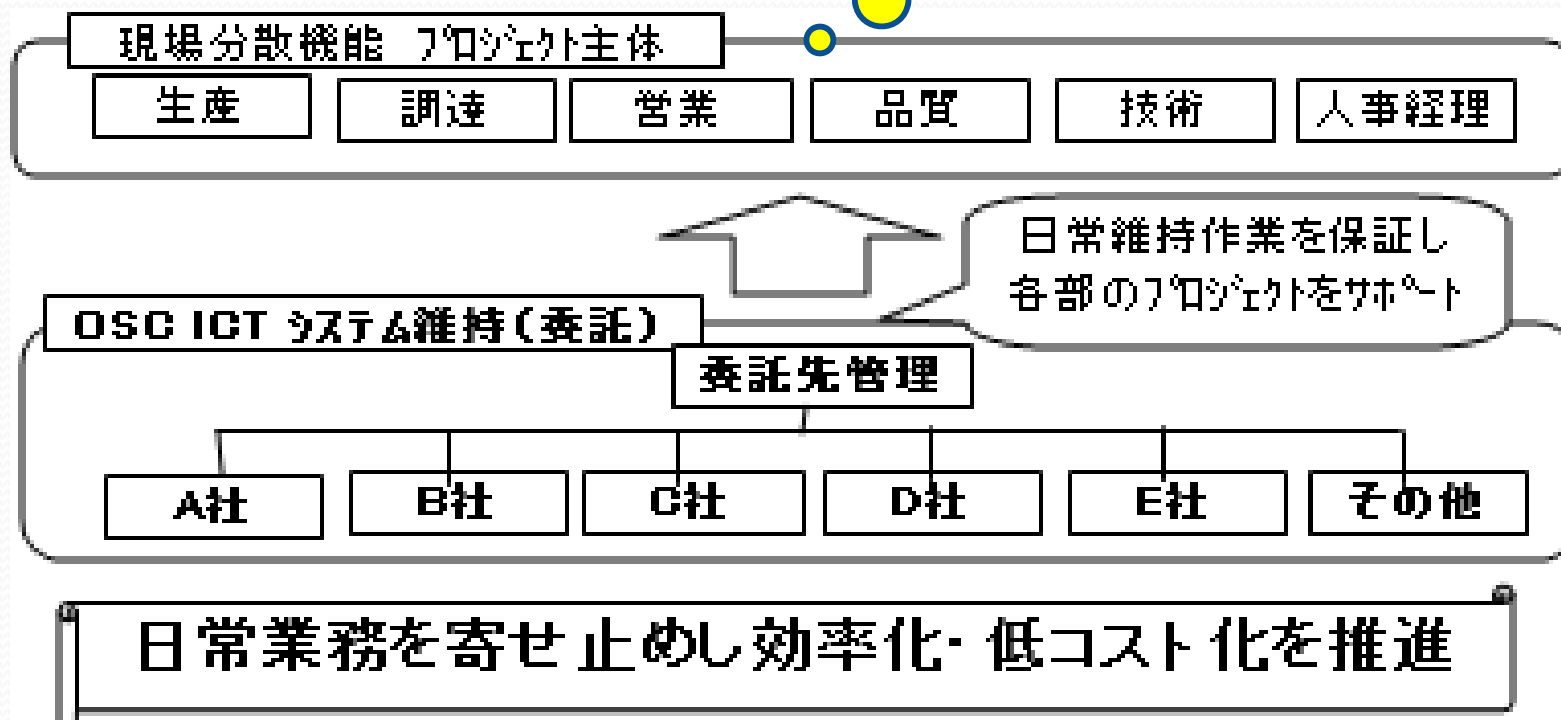
< 6. 課題の解決に向けて⑤ >

「システム保守業務」役割の明確化と効率化

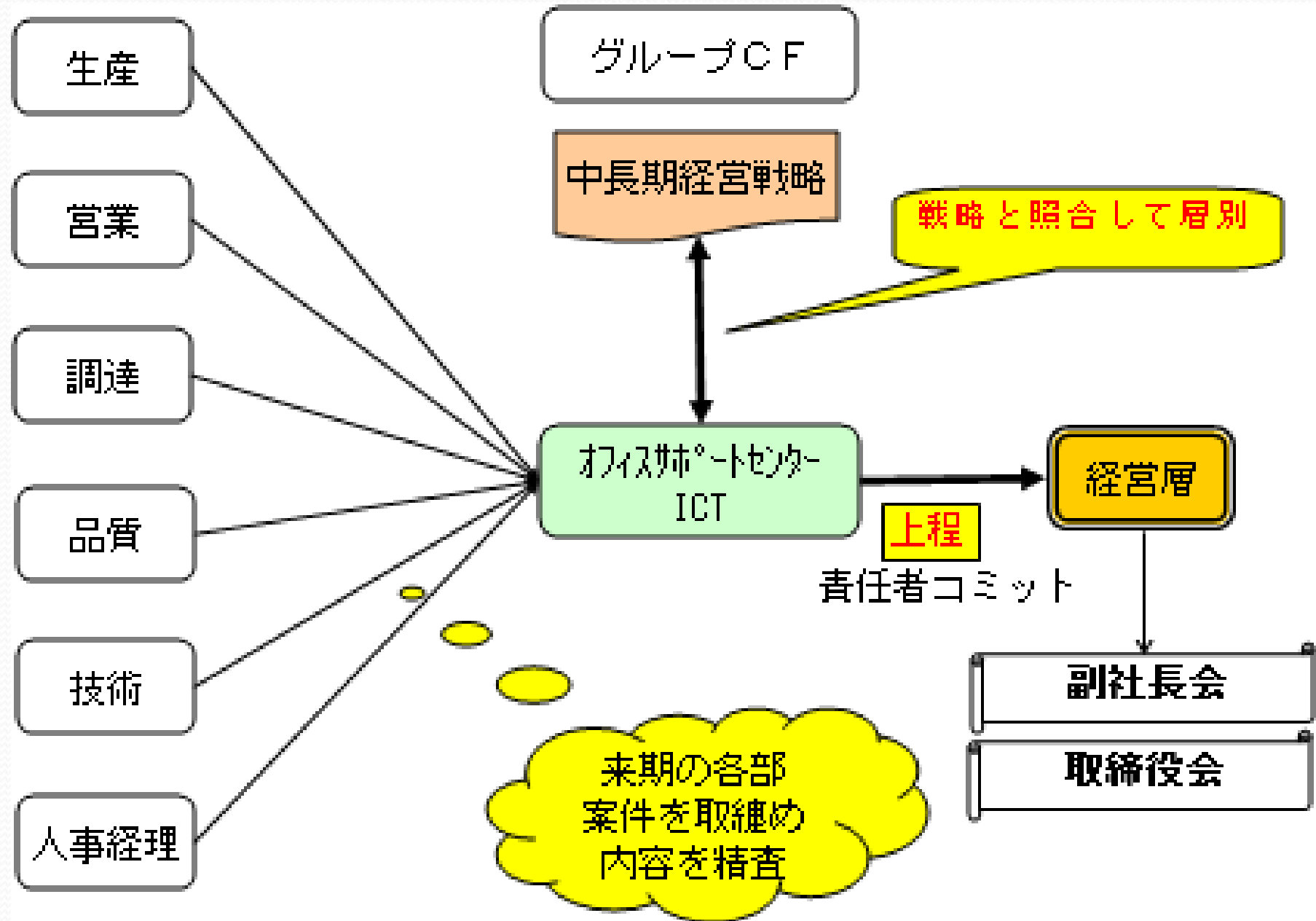
～システム保守委託の考え方～



**全社横串機能を
担保し、標準化・
寄せ止め効果による
コスト低減を継続的に
実施**

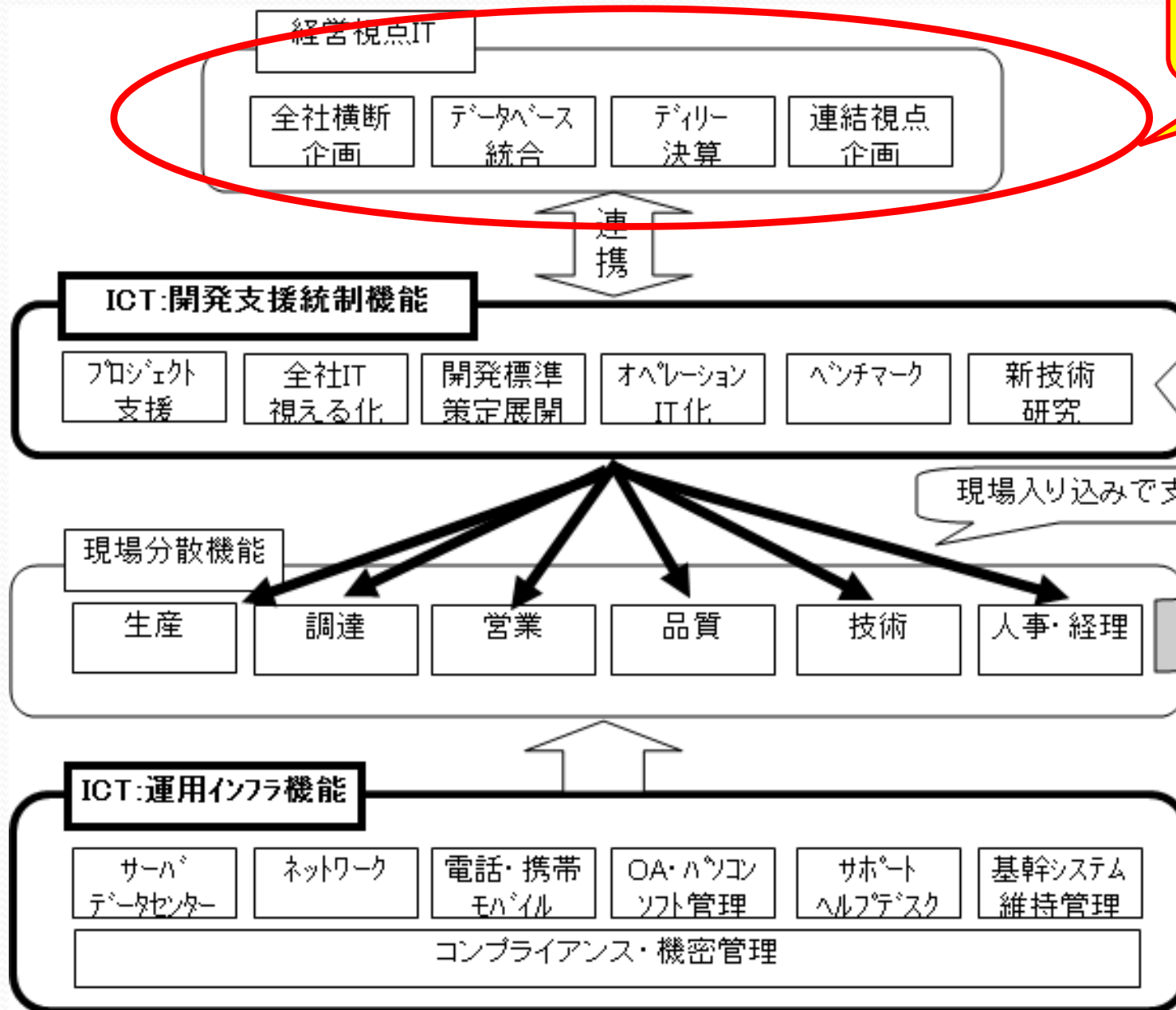


< 6. 課題の解決に向けて⑥ > 全社IT投資の見える化



< 6. 課題の解決に向けて⑦ > 経営に近づく

経営視点での
システム企画推進



現場で育成し
ローテーション

ご清聴
ありがとうございます
ございました



ダイハツが
ちょっと便利な
LINE
はじめました。

